

令和5年度 子ども大学すぎと

1. 実施体制

子ども大学すぎと	学長	伊藤 美由紀（杉戸町教育委員会教育長）
	副学長	宮川 豊美（日本工業大学教授）
子ども大学すぎと実行委員会	実行委員長	瀧ヶ崎 隆司（日本工業大学教授）
	実行委員 （関係団体）	・杉戸町教育委員会 社会教育課 ・日本工業大学

2. 事業内容

開催回数	4回	開催期間	令和5年9月3日～令和5年11月26日			
参加者数	57名	内訳	小学4年生	22名		
			小学5年生	19名		
			小学6年生	16名		

3. 実施内容

1 日目	開催日時	9 月 3 日 (日)	
		14:00～16:00	
は て な 学	会場	日本工業大学	<p>ガリガリプロペラを作ってまわしてみよう！</p>
	講義名	振動でまわるプロペラの原理をさぐる ～機会の仕組みを学ぼう！～	
	講師	日本工業大学先進工学部 ロボティクス学科 教授 宮川 豊美 先生	
2 日目	開催日時	10 月 15 日 (日)	
		10:00～12:00	
は て な 学	会場	杉戸農業高等学校	<p>焼きたてホワホワなマドレーヌを作ってみよう！</p>
	講義名	米粉のお菓子 ～どうしてふくらむのかな？～	
	講師	杉戸農業高等学校 食品流通科 新井 浩美 先生 持田 拓也 先生	

3. 実施内容

3 日目	開催日時	11月12日（日） 13:30～15:30	
	会場	日本工業大学	
	講義名	子ども大学SDGsクラフターズ ～作品を作ってみよう！～	
はてな学	講師	日本工業大学 学生環境推進委員会の皆さん	 <p>マイクロプラスチックを使ったレジンアクセサリーを作ってみよう！</p>
	開催日時	11月26日（日） 13:30～15:30	
4 日目	会場	日本工業大学	
	講義名	とことこうさぎ ～自動歩行機械にふれてみよう！～	
	講師	日本工業大学大学院 工学研究科機械システム学専攻 博士全期過程1年 倉科 俊介 先生	
			<p>うさぎ型のロボットを作って歩かせてみよう！</p>

4. 参加者の声

<p>参加した子供の声 (感想)</p>	<ul style="list-style-type: none">・サポートしてくれた大学生のみなさんが、とても優しく、分かりやすく教えてくれました。2日目のお菓子づくりのときの担当の先生が面白く、分かりやすく教えてくれました。とても楽しかったです。・学校では習わないことを学ぶことができ、楽しかったです。・初めて知ったことがたくさんあって、色々なことを知る機会になりました。・米粉のお菓子やキーホルダーなど、家庭ではできないことばかりでとても凄かった。作り方だけでなく、なぜこうなるのかなども丁寧に説明してくれてとても分かりやすかった。今回とても楽しかったので、来年も参加したいです。・4回しかなかったけど、とても楽しかったです。・どの講義のとも楽しかったです。毎回家に持ち帰って家族に見せられたのが嬉しかったです。普段できない貴重な体験ができたと思います。・レジンやガリガリプロペラなど、やったことのないような体験をすることができて、地球環境のことなど色々なことに興味を持つことができました。・どの講義のとも楽しくて勉強になったので、今後の生活に活かしていけるように頑張りたいです。・3年間で初めて調理をしたのでワクワクが止まらなかった。「つくる」がメインの講義が多く楽しかった。
<p>保護者の声 (感想)</p>	<ul style="list-style-type: none">・お菓子作りの講義以降、家で料理をするようになりました。また、物作りにも興味が出てきた様子で、作るまでのプロセスなどを考えて行うようになった気がします。・実際の大学等で環境が違うところでの学習は、とても有意義であったと思います。自分の将来を見据えた目標をしっかりとって取り組める良い機会であったと思います。これからも続けていただきたいと感じました。・子どもの3才の年齢差は理解度にも違いがあるので、5.6年生対象位が丁度良いのかなと思いました。・次回の講義の予習や課題、もしくは家庭で復習できる教材などをご検討いただけますと幸いです。・色々なジャンルのもの作りを体験したことで、料理に興味を持ったり、ニュースで環境問題についての報道を見た時に反応したりと、本人の身についてきていると実感しています。・少人数の限られた人間関係しかない小学校とは違い、他の学校の子とも関わることが出来る環境はとても良いと思いました。学生さんが教えてくれることで、身近なお兄さんお姉さんの存在で声をかけやすかったようです。